

|   |  |     |    |          |   |    |  |     |     |    |   |
|---|--|-----|----|----------|---|----|--|-----|-----|----|---|
| 2022年度 日本工学院八王子専門学校   |  |     |    |          |   |    |  |     |     |    |   |
| 音響芸術科   |  |     |    |          |   |    |  |     |     |    |   |
| 実習・演習 1   |  |     |    |          |   |    |  |     |     |    |   |
| 対象  | 1年次  | 開講期 | 前期 | 区分       | 必 | 種別 | 実習   | 時間数 | 180 | 単位 | 6 |
| 担当教員  | 鎌田・伊藤・柴・飯村・三好・小林   |     |    | 実務<br>経験 | 有 | 職種 | レコーディングエンジニア、MAエンジニア、ミュージッククリエイター、ラジオディレクター、レコーディングエンジニア |     |     |    |   |
| 授業概要  |  |     |    |          |   |    |  |     |     |    |   |
| スタジオシステム全般を学び、音響機器の基本操作を学びます。   |  |     |    |          |   |    |  |     |     |    |   |
| 到達目標  |  |     |    |          |   |    |  |     |     |    |   |
| 初期段階ではポータブルミキサーを使いながらミキサー卓の音声信号（電気信号）の流れを理解する。入力された音声信号が増幅、分流、減衰などを行いながら出力されている事を把握する。そして各種スタジオ機器についてもその役割と操作方法について理解する。特にマイクロフォンはダイナミック、コンデンサーともに現場で多用されている物の特徴と名称も取り扱いと共に覚えることを目標とする。 |  |     |    |          |   |    |  |     |     |    |   |
| 授業方法  |  |     |    |          |   |    |  |     |     |    |   |
| 演習部分では講義形式で行われ、実習の予習・復習となる。基本は班行動で行い、コミュニケーション力も養っていく。  |  |     |    |          |   |    |  |     |     |    |   |
| 成績評価方法  |  |     |    |          |   |    |  |     |     |    |   |
| 課題提出、レポート提出、グレード試験、実演を総合評価とする。  |  |     |    |          |   |    |  |     |     |    |   |
| 履修上の注意  |  |     |    |          |   |    |  |     |     |    |   |
| この授業では、音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は実習関連の試験を受験することができない。   |  |     |    |          |   |    |  |     |     |    |   |
| 教科書教材   |  |     |    |          |   |    |  |     |     |    |   |
| 音響映像設備マニュアル（2019年改訂版）、プリント配布  |  |     |    |          |   |    |  |     |     |    |   |
| 回数  | 授業計画   |     |    |          |   |    |  |     |     |    |   |
| 第2回   | 実習：スタジオ概要スタジオの構造と各機器の役割を理解する。また正しい電源の入れ方もできるようになる。                           |     |    |          |   |    |  |     |     |    |   |
| 第3回   | 実習：ケーブル巻き順巻き、逆相巻き、マルチケーブルの巻くことができる。  |     |    |          |   |    |  |     |     |    |   |
| 第4回   | 演習：マイクロフォン・スタジオ概要基本的なマイクロフォンの種類、扱い方がわかる。スタジオの構造と各機器の役割を理解する。また正しい電源の入れ方もできる。 |     |    |          |   |    |  |     |     |    |   |

|      |  |
|------|--|
| 第5回  | 実習：各機器の立ち上げスタジオでマイクロフォンやCDなどの音源を試聴するための操作ができる。 |
| 第6回  | 実習：スタジオ機器の基本操作各周辺機器・パッチなど接続ができる。               |
| 第7回  | 演習：外録機材・操作レコーダーの使い方とマイクを適切に使うことができる。           |
| 第8回  | 実習：マイクケーブル半田ごての使い方をマスターし、今後も使う自分用のケーブルを製作できる。  |
| 第9回  | 実習：マイクロフォン1基本的なマイクロフォンの種類がわかる。                 |
| 第10回 | 演習：各機器の立ち上げスタジオでマイクロフォンやCDなどの音源を試聴するための操作ができる  |
| 第11回 | 実習：マイクロフォン2マイクロフォンの取り扱い、機能がわかる。                |
| 第12回 | 実習：外録実習レコーダーの使い方、マイクを適切に使うことができる。              |
| 第13回 | 演習：ミキシングコンソール1 ポータブルミキサーへマイクなどの接続、立ち上げができる。    |
| 第14回 | 実習：ケーブル取り扱いまとめケーブル巻き、逆相巻きのチェック。きれいに早く作業ができる。   |
| 第15回 | 実習：マイクロフォンまとめマイクロフォン種類、構造、取り扱い、確認・チェック。        |
| 第16回 | 演習：ミキシングコンソール2 ポータブルミキサーを使ったPAができる。ハウリングを防げる。  |

|      |  |
|------|--|
| 第17回 | 実習：ミキシングコンソール1 ポータブルミキサーへマイクなどの接続ができる。             |
| 第18回 | 実習：ミキシングコンソール2 ポータブルミキサー・AUX回路のしくみがわかる。            |
| 第19回 | 演習：ミキシングコンソール3 ポータブルミキサー・AUX回路のしくみわかる。             |
| 第20回 | 実習：ミキシングコンソール3 ポータブルミキサー・AUX回路の使い方、FB操作ができる。       |
| 第21回 | 実習：ミキシングコンソール前半まとめポータブルミキサーを使って簡単なPAシステムを組むことができる。 |
| 第22回 | 演習：ミキシングコンソール4前半のまとめ、チェックをし、ミキサーの基本がわかる。           |
| 第23回 | 実習：ミキシングコンソール4中規模ミキサーの立ち上げができる。                    |
| 第24回 | 実習：ミキシングコンソール5中規模ミキサーのAUXを使用できる。                   |
| 第25回 | 演習：音響の仕事1 スタジオワーク、スタジオで働くための基本知識がわかる。              |
| 第26回 | 実習：ミキシングコンソール6中規模ミキサーのバス、操作ができる。                   |
| 第27回 | 実習：ミキシングコンソール7SSLの操作1各種音源の立ち上げ、I/O関連の操作ができる。       |
| 第28回 | 演習：ミキシングコンソール5SSLの操作1各種音源の立ち上げ、I/O関連がわかる。          |

|          |  |
|----------|--|
| 第29回     | 実習：ミキシングコンソール8SSLの操作2モニター、出演者へのFBの操作ができる。                                |
| 第30回     | 実習：ミキシングコンソール 9 SSLとProToolsの連動、録音ができる。                                  |
| 第31回     | 演習：ミキシングコンソール6SSLの操作2モニター、出演者へのFBの操作ができる。                                |
| 第32回     | 実習：ミキシングコンソール 10 SSLとProToolsを連動させたミックスができる。                             |
| 第33回     | 実習：専攻実習レコーディング 1 (バンドの) レコーディングができる。                                     |
| 第34回     | 演習：マイクロフォン代表的なマイクロフォンの把握、小テスト (グレード5)                                    |
| 第35回     | 実習：専攻実習レコーディング 2 ギターやコーラスなどのオーバーダビングができる。                                |
| 第35回～45回 | A:打ち込み+V0の適切な処理とミキシング作品の完成 B:短編のMA作品の完成 C:インタビューを含めたラジオ番組の完成 全員が3つの作品を持つ |